

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社バーレックス相模原新センター新築工事	階数	地上2F
建設地	相模原市緑区小倉字明音寺1508-4	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	70人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,700時間/年
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2015年9月15日
敷地面積	9,995㎡	作成者	㈱中村組
建築面積	4,959㎡	確認日	2015年9月15日
延床面積	9,010㎡	確認者	㈱中村組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	94%
③上記+②以外の	94%
④上記+	94%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3
Q2 サービス性能: 4
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	2.5
温熱環境	2.6
光・視環境	3.5
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.0
耐用性	2.9
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.0
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.2
地域環境	3.1
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
室内環境については耐用年数の長い配管材を使用する等で配慮している。 室外環境については植栽により良好な景観を形成している。	0
Q1 室内環境 内装仕上げ材、合板類、塗装剤、接着材はすべてF☆☆☆☆以上を使用する。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている
LR1 エネルギー 外皮に断熱施工をすることにより外部からの熱負荷を軽減している。高効率な個別空調システムとLED照明器具を採用し一次エネルギーの低減している。	LR2 資源・マテリアル 大便器、小便器、洗面器に節水器具を採用し節水に取り組む。
	LR3 敷地外環境 屋外照明はグレアや上方への漏れ光の少ない器具を選定。広告物照明なし。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される